

# お知らせします 村の家計簿

全会計合わせて四十六億円を支出

村の平成十八年度の決算がまとまり、九月下旬に行われた村議会定例会で認定されました。

村では、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、四つの基本施策を展開する事業を進めてきました。

これらの基本施策を盛り込んだ平成十八年度の歳出（支出）決算額は、一般会計が三十億二千三百三十七万円、特別会計が十六億千五百五十五万円、全会計合わせて四十六億二千七百九十二万円となりました。

今月号は、平成十八年度決算のあらましをお知らせします。

## 一般会計

平成十八年度の一般会計決算額は、歳入（収入）総額三十億七千七百一十万円、歳出（支出）総額三十億二千三百三十七万円、歳入歳出差引額が六千四百六十四万円の黒字となりました。

## 【歳入】

歳入は、前年度と比較すると四千八百

十六万円（二・三％）の増加となりました。

歳入は、その性質から「依存財源」（国や県から入ってくるお金）と「自主財源」（村が自分自身で確保できるお金）に分けられます。依存財源で大半を占めるのは「地方交付税」で、十四億九千六百万円となり、前年に比べ千九百一十万円（〇・七％）の減少となりました。また、大きな事業を行う

べ七千八百万円（十七・九％）減の三億二千三百七十万円となり、依存財源が全体に占める割合は八十一・七％となりました。

自主財源の主なものはみなさんに納めていただく「村税」（村民税・固定資産税軽自動車税・村たばこ税・入湯税）で、前年度に比べ百二十万円（〇・五％）の増の二億五千四百六十三万円となりました。また、さまざま基金からの繰入金は前年度に比べ三

千四百五百万円（十八・四％）減の一億三千四百八十四万円となり、自主財源の中で村税に次ぐ割合を占めました。

## 【歳出】

歳出は、前年度に比べ全体で三千三百七十五万円（一・一％）の増加となりました。

目的別歳出のトップは、総務費の六億千五百三十三万円（二十・三％）。次いで民生費の四億八千五百八十八万円

場合には、国や県から補助金をもらいますが、平成十八年度は、県

支出金としては、前年に比べ四千三百二十五万円（九・〇％）増の二億七千六百万円、国庫支出金としては前年に比べ七千二百五十九万円（三十五・七％）増の二億七千五百八十三万円が村に交付されました。

さらに、「村債」（村が事業を行

（十六・一％）、公債費の四億四百七十七万円（十三・四％）となりました。

性質別では、人件費が七億六千四百一十万円（二十三・三％）でトップとなり、普通建設事業費の四億九千七百七十三万円（十六・三％）、公債費の四億四百七十七万円（十三・四％）と続きます。平成十八年度に行った主な事業については、四・五ページをご覧ください。

## 特別会計

「特別会計」とは、特定の事業を特定の収入で行うために、予算を分けて、独立して設けた会計をいいます。

平成十八年度の特別会計決算額の総額は、歳入が十六億八千三百八十一万円、前年度に比べ二億千六百七十九万円（十四・八％）の増となりました。また、歳出は十六億千五百五十五万円となり、前年度に比べ一億八千七百九十三万円（十三・二％）の増となりました。

## ■会計別決算の状況

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	30億7,701万6千円	30億1,236万8千円	6,464万8千円
特別会計	16億8,381万6千円	16億1,555万7千円	6,825万9千円
国民健康保険	4億5,025万4千円	4億3,009万4千円	2,016万円
事業助定直診助定	8,792万1千円	8,381万円	411万1千円
老人保健	5億1,968万6千円	5億552万円	1,416万5千円
簡易水道事業	7,156万5千円	6,836万9千円	319万6千円
村営バス事業	668万1千円	600万3千円	67万8千円
集落排水事業	3,419万8千円	3,314万7千円	105万1千円
介護保険	3億169万4千円	2億8,032万8千円	2,136万6千円
交流施設	3,219万1千円	3,023万5千円	195万6千円
学校給食センター	1億7,962万6千円	1億7,805万円	157万6千円
決算総額	47億6,083万2千円	46億2,792万5千円	1億3,290万7千円

## ■一般会計歳入決算の状況

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	5億6,233万3千円	18.3	△287万6千円	△0.5
村税	2億5,463万3千円	8.3	120万9千円	0.5
繰入金	1億3,484万3千円	4.4	△3,045万2千円	△18.4
繰越金	5,753万4千円	1.9	139万8千円	2.5
諸収入	3,730万2千円	1.2	△790万9千円	△17.57
その他①	7,802万1千円	2.5	3,287万8千円	2.8
依存財源	25億1,468万3千円	81.7	4,374万円	1.8
地方交付税	14億9,660万8千円	48.6	△1,111万4千円	△0.7
村債	3億2,370万円	10.5	△7,080万円	△17.9
県支出金	2億7,106万2千円	8.8	4,325万9千円	19.0
国庫支出金	2億7,583万2千円	9.0	7,259万5千円	35.7
その他②	1億4,748万1千円	4.8	980万1千円	7.1
計	30億7,701万6千円	100.0	4,086万5千円	1.3

※その他①=使用料手数料、財産収入、寄附金、分担金及び負担金/その他②=地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特別交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金、株式譲渡所得割交付金、配当割交付金

## ■一般会計目的別歳出決算の状況

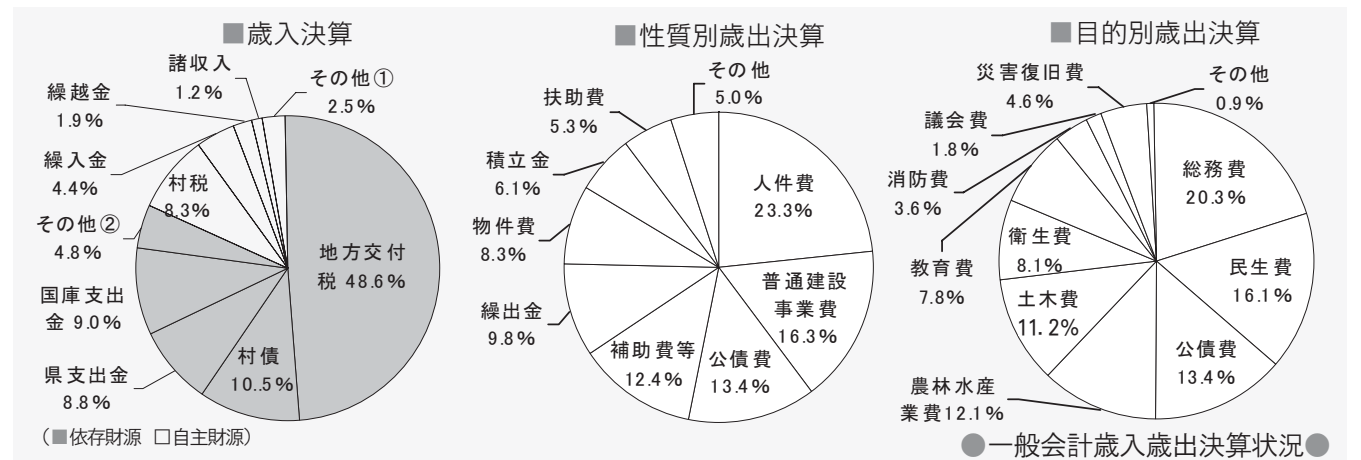
区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総務費	6億1,153万7千円	20.3	1,426万6千円	2.4
民生費	4億8,588万4千円	16.1	△2,826万4千円	△5.5
公債費	4億407万7千円	13.4	△874万4千円	△2.1
農林水産業費	3億6,373万7千円	12.1	△8,352万2千円	△18.7
土木費	3億3,793万3千円	11.2	9,228万6千円	37.6
衛生費	2億4,276万6千円	8.1	△394万8千円	△1.6
教育費	2億3,446万1千円	7.8	△3,737万4千円	△13.7
消防費	1億973万1千円	3.6	42万3千円	0.4
議会費	5,532万2千円	1.8	124万7千円	2.3
災害復旧費	1億3,987万2千円	4.6	9,057万8千円	183.8
その他	2,704万8千円	0.9	△319万8千円	△10.6
計	30億1,236万8千円	100.0	3,375万1千円	1.1

※その他=労働費、商工費

## ■一般会計性質別歳出決算の状況

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	7億164万7千円	23.3	△2,845万9千円	△3.9
普通建設事業費	4億9,173万4千円	16.3	4,838万9千円	10.9
公債費	4億407万7千円	13.4	△874万4千円	△2.1
補助費等	3億7,325万7千円	12.4	△1,566万9千円	△4.0
教育費繰出金	2億9,527万5千円	9.8	5,656万6千円	23.7
物件費	2億5,009万4千円	8.3	△5,814万円	△18.9
積立金	1億8,357万円	6.1	△3,542万8千円	△16.2
扶助費	1億5,976万1千円	5.3	△1,592万8千円	△9.1
その他	1億5,295万3千円	5.1	3,116万4千円	147.5
計	30億1,236万8千円	100.0	9,375万1千円	1.1

※その他=災害復旧費、維持補修費、投資及び出資金・貸付金





平成18年度はこんな仕事を行いました

主な事業概要④	
<農村の人づくりと産業ビジョン> 地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現	
<b>【学校教育の充実】</b>	
●小・中学校基礎学力向上推進事業(学力診断テスト)に	40万円
●旧富田小学校屋上防水工事に	300万円
●野外体験活動支援事業に	36万円
●中学校体育館屋根塗装工事に	102万円
●鮫川小・中学校コンピュータ借料に	314万円
●鮫川中学校修学旅行助成金として	114万円
●語学指導を行う外国青年招致事業に	465万円
●スクールバス運行のために(小学校2台、中学校4台)	1,642万円
<b>【安心安全、顔の見える農業の振興】</b>	
●水田作付条件整備事業(暗渠排水33人)	348万円
●畜産環境保全条件整備事業のために(堆肥舎などの整備・4組合)	777万円
●肉用牛生産振興事業に(市場運搬経費、ヘルパー経費補助)	113万円
●優良牛整備増殖事業に(優良和牛基礎雌牛導入補助)	117万円
●稔りの農地総合再生事業のために(草地更新・1組合)	211万円
<b>【ふるさとの森を守り育てる】</b>	
●森林整備地域活動支援交付金として	472万円
●松くい虫防除事業のために	481万円
<b>【商工業の振興、雇用機会の確保】</b>	
●商工業振興事業(商工会補助など)のために	348万円
●事業所の福利厚生などのために	12万円
<b>【村の特徴を活かした観光の振興】</b>	
●高原の鮫川うまいもの祭りのために	150万円
●鹿角平観光牧場の維持管理のために	125万円
<b>【その他】</b>	
●国土調査のために	4,391万円
●選挙のために	713万円
●議会運営のために	5,532万円
●図書館運営として	689万円
●村の借入金返済のために	4億407万円

主な事業概要③	
<農村の暮らしビジョン> みんなが安心して生活できる村の実現	
<b>【安心生活ができる公共交通づくり】</b>	
●生活バス路線運行のために(福島交通バス運行補助金および村営バス特別会計繰出金)	1,351万円
<b>【多様な暮らしの工夫】</b>	
●まちづくり交付金事業(村営住宅渡瀬団地建設、渡瀬広場整備事業、村道渡瀬団地線整備などに)	8,759万円
<b>【火災と災害への備え】</b>	
●小型動力ポンプ(2台)購入のために	304万円
●白河地方広域市町村圏整備組合常備消防費負担金として	7,957万円
●防災行政無線設備維持管理に	184万円
●高度情報化事業に(白河広域ネットワーク負担金など)	924万円
<b>【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】</b>	
●住民健康診査のために(各種がん検診含む)	1,507万円
<b>【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】</b>	
●高齢者総合福祉センター(ひだまり荘)運営のために	893万円
●さざり荘運営のために	541万円
●高齢者筋力づくり教室のために	303万円
●高齢者インフルエンザ予防接種のために	160万円
<b>【子育て支援体制づくり】</b>	
●保育園・こどもセンター運営のために	1億3,840万円
●乳幼児医療費助成のために	742万円
●妊婦一般健康診査のために	31万円
●妊産婦医療費助成(社保分)のために	57万円
●幼稚園運営費として	2,313万円
●放課後児童クラブ運営のために	226万円
<b>【障害者の支援体制づくり】</b>	
●身体障害者施設訓練などの支援のために	1,900万円
●知的障害者施設訓練などの支援のために	3,745万円
●重度心身障害者医療費扶助のために	966万円
<b>【その他】</b>	
●地方振興費(各行政区への補助金)	248万円
●区長・副区長・行政連絡員報酬として	1,041万円

主な事業概要②	
<農村の環境ビジョン> 自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現	
<b>【道路網・道路環境の整備】</b>	
●村道寅卯平富田線改良事業に	2億500万円
●村道中野工業団地線改良事業に	409万円
●村道官沢西山線落石防止網設置事業に	197万円
●道路付属施設等環境美化事業(道路除草)に	237万円
●県営農道整備事業負担金として(東白川地区広域農道・東野中部地区農免農道)	2,123万円
<b>【水を大切に、環境に配慮した排水の処理】</b>	
●合併処理浄化槽設置費補助のために(20基)	1,253万円
●集落排水事業のために(集落排水事業特別会計繰出金)	2,460万円
<b>【その他】</b>	
●東白衛生組合運営費負担金として	6,973万円

主な事業概要①	
<農村の再生ビジョン> 独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現	
<b>【環境と健康を食べる】</b>	
●農産物加工直売所「手・まめ・館」整備に(米飯給食施設改修、精米所増築、駐車場舗装)	330万円
●大豆による元気づくり事業に(特産品開発、アイデア料理コンテスト、起業塾、食育推進等)	135万円
●環境にやさしい米づくり推進事業に	47万円
<b>【農村の景観と文化を生かす】</b>	
●館山公園整備事業のために	695万円
●中山間地域直接支払交付金として	1億2,292万円
<b>【災害復旧】</b>	
●公共土木施設災害復旧のために(過年災…河川1カ所、現年災…凍上災13カ所、地すべり1カ所)	1億2,275万円
●農地等災害復旧のために(現年災…3カ所)	239万円
●林道施設災害復旧のために(現年災…1カ所)	883万円



中山間直接支払交付金事業で管理されている景観



渡瀬団地



村道寅卯平富田線

村民1人当たりに使われるお金は**663,295円**(△23,642円)です。

一般会計歳出予算額÷平成19年3月31日現在の人口4,345人で計算。  
 [( )内は対前年比。平成18年度は平成18年3月31日現在の人口4,448人で計算。]

総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	140,745円 (6,466円)
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	111,826円 (△3,765円)
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	92,998円 (187円)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	83,714円 (△16,839円)
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	77,775円 (22,549円)
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	55,873円 (407円)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	53,961円 (△7,153円)
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	25,254円 (679円)
議会費	村議会運営のためのお金	12,732円 (575円)
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	38,417円 (20,535円)